

平成27年度 第2回金沢市入札制度評価委員会の審議概要

開催日及び場所		平成27年8月24日(月) 金沢市役所 第4委員会室	
委員 (委員数5名) (出席数5名)		委員長 坂井 美紀夫(弁護士) 委員 後藤 正美(金沢工業大学教授) 委員 米田 満(公認会計士) 委員 松本 樹典(金沢大学教授) 委員 舟橋 秀明(金沢大学准教授)	
次第		1 開会 2 審議案件 (1) 工事等に係る入札・契約手続きの運用状況等について ア 平成27年4月1日から平成27年7月31日までに係る本市発注工事 及び工事関連委託業務の結果について イ 入札参加資格停止の運用状況及び談合情報への対応状況について (2) 委員があらかじめ抽出した案件に係る業者選考等の経緯について (平成27年4月1日から平成27年6月30日) (3) その他 3 閉会	
抽出案件		5件	
工事	制約付き一般競争入札	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度 臨海(第十一分区)百坂町地内(3工区)(4-2工区)管渠築造工事 ・ 西南部小学校暖房設備改修工事
	随意契約	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・ かなざわ雨水情報システム機能改良等工事
委託	制約付き一般競争入札	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度 城北水質管理センター第2水処理施設耐震修正設計業務委託
	指名競争入札	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道基幹管路耐震化事業実施設計業務委託(その1)
審議内容		別紙のとおり	
委員会による報告 又は意見の具申		平成27年度第1四半期の発注工事等に係る入札・契約手続きの運用については、適正に行われていると判断する。	

(お問合せ) 〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号
 金沢市総務局監理課 工事契約係
 電話:076-220-2101

別 紙

総 括

委員からの意見は、概ね次のとおりであった。
 工事及び委託業務の業者選考等が適正に行われていたことを確認した。

今年度は落札率の低下がみられるが、4月から土木積算方法が改定されたことによるものと思われる、また、最低制限価格と同額入札の増加は、積算方法や設計図書等の情報公開が広く行われている中、積算能力を有し、受注意欲の高い事業者が適正な競争を行った結果であり、現時点で入札制度に問題はないと考えるが、引き続き、県や他都市の状況も含め、入札状況の推移を見守っていく必要がある。

意見の詳細は、次のとおり。

質 疑 ・ 意 見	応 答
<p>1 工事・委託業務に係る入札・契約手続きの運用状況等</p> <p>○ 入札不調の状況はどうか。</p> <p>○ 中核市での最低制限価格の状況はどうか。</p> <p>○ 金沢市と同様の入札制度を採用している中核市でも最低制限価格と同額の落札が少ない都市があるということだが、何か違いがあるか。</p> <p>○ 金沢市の入札制度は中核市の中でも標準的であると思われる。昨年同期と比較し、落札率が若干低く、発注数や契約額も下がっているが、事業者の受注意欲は高いということではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度はこれまで建築工事の1件のみである。昨年同期と比較し、かなり減少している。 ・ 予定価格の事前公表、最低制限価格の事後公表等、金沢市と同様の制度を採用している中核市もあるが、最低制限価格での落札状況はまちまちである。 ・ 金沢市では、特に土木工事で受注意欲が高く競争も激しいため、最低制限価格帯での競争となっているが、最低制限価格同額が少ない都市では、落札率が高い傾向が見られ、最低制限価格でも受注したいという状況にないものと考えられる。 ・ 特に土木工事は民間需要がほとんど無いため、公共工事の発注で激しく競争している状況が見受けられる。また、昨年度は国の補正予算により、年度当初から発注が多かったが、今年度はそれらが少ないため、手の空く時期ということも相まって一層受注意欲が高まっている。
<p>2 委員があらかじめ抽出した案件に係る業者選考等の経緯について</p> <p>平成27年度 臨海（第十一分区）百坂町地内（3工区）（4-2工区）管渠築造工事</p> <p>○ 参加者が多い案件であるが、最低制限価格未満での失格も多い。また、最低制限価格以上の応札者の価格にも開きがある。予定価格は適正であったか。</p> <p>西南部小学校暖房設備改修工事</p> <p>○ 本工事は、暖房設備の工事としては規模が大きく、事業者の受注意欲も高いと思われる。最低制限価格を下回ったものが多い案件であるが、公正な競争の結果であり、妥当な入札と思われる。</p> <p>かなざわ雨水情報システム機能改良等工事</p> <p>○ ソフトウェアを含む工事ということもあり、当初施工者への随意契約は理解できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事は参加者も多く、受注意欲が高かったことから、激しい競争の結果、最低制限価格未満での失格が多かったと推察される。また、積算は二重三重にチェックしており、予定価格は適正なものである。

質 疑 ・ 意 見	応 答
<p>平成27年度 城北水質管理センター第2水処理施設耐震修正設計業務委託</p> <p>○ 落札者は耐震設計を行った事業者か。また、他社との入札額の差は耐震設計業務を受注したことのほかに要因はあるか。</p> <p>○ 前回設計の成果品の提供方法については検討して欲しい。</p>	<p>・ 落札者は当初の耐震設計を受注した事業者である。前回の耐震設計を受注したことが、入札価格を低くできた要因ではないかと考えている。</p>
<p>水道基幹管路耐震化事業 実施設計業務委託（その1）</p> <p>○ 落札率が低い原因は何か。また、水道基幹管路耐震化事業の今後の計画を教えてほしい。</p>	<p>・ 落札者の受注意欲が高かった結果と考えられる。 事業計画は現在、浄水場から配水池までの送水管と、配水池からの配水本管の耐震化を進めており、まずは、拠点施設や避難所につながる管を優先的に進めて行きたいと考えている。</p>